

事務事業評価表 平成22年度

政策 安心を感じる保健・医療・福祉の充実

施策 高齢者福祉の充実

基本事業 地域交流と社会参加の促進

事業名 **全国健康福祉祭開催事業**

[0827]

部名	健康福祉部	事業開始年度	平成20年度	実施計画事業認定	非対象
課名	介護保険課	事業終了年度	平成21年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>福祉祭実行委員会</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>健康及び福祉に関する積極的かつ総合的な普及啓発により、高齢者の健康の保持・増進、社会参加、生きがいづくりを図る。</p>
手段	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>大会の運営及び開催に関する経費について、その一部を補助する。(ねんりんピック北海道・札幌 2009江別市実行委員会)</p>

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度当初
対象指標1	60歳以上の高齢者数	人		34,302	35,670	37,038
対象指標2						
活動指標1	補助金額	千円		524	2,231	0
活動指標2						
成果指標1	参加人数	人		130	188	0
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	0	524	2,231	0
正職員人件費 (B)		千円	0	669	1,079	0
総事業費 (A) + (B)		千円	0	1,193	3,310	0

費用内訳	
21年度	負担金 補助及び交付金 2,231千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始 背景		事業を 取り巻く 環境変化	
------------	--	---------------------	--

21年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業
 妥当である
 妥当性が低い

理由
 ・
 根拠は？

国、都道府県等が主催者となり 高齢者を対象とした全国的な大会として都道府県単位で開催されるため妥当である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい
 貢献度ふつう
 貢献度小さい
 基礎的事務事業

理由
 ・
 根拠は？

高齢者の健康の保持・増進、社会参加を図り 生きがいつくりの促進に寄与する。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

あがっている
 どちらかといえばあがっている
 あがらない

理由
 ・
 根拠は？

リハーサル大会への参加・PR等により おおむね計画通りの成果が得られた。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大
 成果向上余地 中
 成果向上余地 小・なし

理由
 ・
 根拠は？

広報、啓発等により成果向上の余地あり

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある
 ない

理由
 ・
 根拠は？

ボランティア等の活用による事業の効率化